『一瞬の油断で一生の苦しみ』

群馬県

群馬県立高崎東高等学校　一年

　「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「おやすみ」。こんな何気ない会話で一日一日が過ぎていきます。今、こうして家族、友達、先生といった沢山の大切な人に囲まれて、笑ったり、泣いたり、喜んだり出来ること。いつも当たり前のように生活していることがどんなに特別なことだろうか。

　ある日、私はいつものように慌ただしく身支度をして、水筒を用意して朝の準備をしていました。その時、毎日台所から流れてくるラジオから、

「風見しんごです。私の娘、えみるはいつものように登校しました。そのとき・・・」

という話が耳に入ってきました。このラジオを聞いて、風見しんごさんの娘さんが交通事故で天国へ旅立ってしまったことを知りました。この時、その状況が自分の中でリアルに浮かんできて、とても胸がしめつけられるような思いがしました。朝、元気よく笑顔で「行ってきます！」と出て行った家族が、もう二度と帰ってこないなんて考えられるでしょうか。私だったら考えられないし、絶対に信じたくありません。まさか天国へ旅立ってしまうなんて思いもしないでしょう。この時、私は今まで当たり前だった日常が頭に浮かびました。「行ってきます」「行ってらっしゃい」。この会話がなかった日、適当に返事をしていた日、けんかをしていて口を利かなかった日、次々と頭の中に出来事がよぎっていきました。

　私はふと手が止まりました。このラジオを聞いて、私の大切な人が一瞬でいなくなってしまったら・・・と考えたら頭が真っ白になってしまいました。事故は、病気もせず健康に毎日を生きていた日常、そして未来を一瞬で奪ってしまうのです。また、被害者だけでなく、周りの人にも心の傷を残し、人生を壊してしまう恐ろしさを感じました。朝、「行ってきます」と家を出たら、「ただいま」と家にもどってくることは、決して当たり前ではないと知らされました。「命は大切だ。」今まで何度も言われてきた言葉であり、聞くと当たり前のように感じる言葉でもありました。しかし、このある日の出来事で「命は大切だ。」という言葉が、いかに尊いものなのかを身にしみて感じました。交通事故は突然起こります。毎日どこかの場所で事故が発生し、毎日どこかで悲しい思いや、悔しい思い、つらい思いをしている人がいるのでしょう。でもそれを当然とは思いたくありません。一瞬の油断で誰かが加害者になり、誰かが被害者になってしまいます。そして、どんなに時間が経っても、事件や事故を忘れることができずに苦しんでいる人がいるという事実。そのことを肝に銘じて、事故を起こさないように毎日の生活を送らなければいけないと思います。

　もちろん、交通事故だけではありません。いじめ、犯罪、体罰、虐待、育児放棄、災害。目を逸らしてはいけない出来事がたくさんあります。どれも簡単に人の命を奪ってしまうことがあります。いつ、どこで、何があるかは誰にもわかりません。だからこそ、一日一日の当たり前の日々を大切にしなくてはならないと思います。事件や事故で誰かが亡くなるということ。それは1でも100でも1000でもことの重大さは変わりません。この世界で明日が来るのは当たり前ではないかもしれません。当たり前に明日がやってくることは、とても幸せなことだと強く実感しました。